

わ エコ湧〜く かわら版

発行所
別府市環境課
〒874-8511
別府市上野口町1-15
TEL. 21-1134
FAX. 21-1105
e-mail:
env-le@city.beppu.oita.jp

～ エコワークな企業 ～

今回は、エコな活動に取り組んでいるという「別府リハビリテーションセンター」を訪問し、お話を伺ってきました。

※「環」＝環境課職員、「リ」＝リハビリテーションセンター担当者

環：環境に優しい設備があるとお聞きしたのですが？

リ：現在、医療・福祉施設としては、国内最大級の発電量（1時間に最大300キロワット）を誇る「太陽光発電システム」を設置しています。

屋上にスラ〜っと並べて
設置されている太陽光発電パネル



環：なぜ、太陽光発電を設置しようと思ったのですか？

リ：施設が大きく、多くのエネルギーを消費するため、建物を新しく建設する際に、環境に優しい「自然エネルギー」を導入しようと思ったからです。

他にも、「温泉の噴気」を活用した給湯施設を設置しており、施設内の給湯を全てまかなっております。以前は重油ボイラーを使用していたため、かなりの量の温室効果ガスが削減できていると考えています。

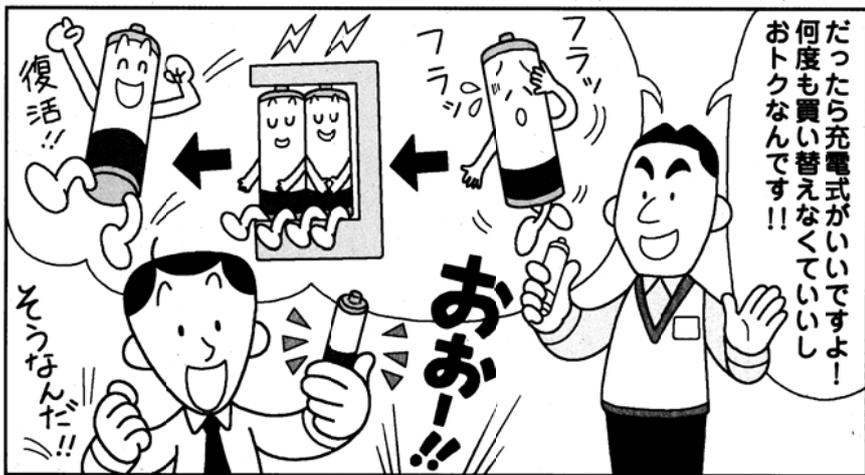
環：最後にメッセージをお願いします。

リ：自然エネルギーを最大限に活用し、今後も環境にやさしい、人にやさしい施設づくりを目指していきます！

9月19日に開催した「別府市主催フリーマーケット」に出店・来場していただいた方々、本当にありがとうございました。次回開催する際も、よろしくお願ひします★

【フリーマーケットの豆知識】

フリーマーケットは、フランスのパリで行なわれていた「蚤(のみ)の市」がルーツといわれています。蚤の市を英訳すると「Flea market」。そう、フリーマーケットの「フリー」は「Free(自由)」ではなく「Flea(蚤)」だったんです！ ちなみに、日本で始めて開催されたのは1979年、場所は大阪だそうです。



別府のいいところ!

この天間草原は、市街地中心から車で25分のところにあり、標高約500mに位置します。市街地の喧騒もここには届くことは無く、時折自動車音がしますが、心地よい風の音が心をなごませてくれます。また、広がる草原の中で、季節によって様々な希少



ヒゴタイ①



ヒゴタイ②

植物も見られます。夏はヒゴタイの群落があちこちに見られ、訪れた人の目を楽しませてくれます。ここでは、地元の方が希少植物や景観を地道に保護・保全しています。この「和み空間」は大分県のホームページに、別府市で唯一登録されています。詳しくは下記アドレスまで↓

<http://www.pref.oita.jp/soshiki/13350/nagomi.html>

昆虫の越冬風景

昆虫が成虫のまま冬を越すというと、結構驚かれる人が多いかもしれませんが、昆虫は寒くなると、姿を見せなくなるため「越冬」していないと思われがちですが、暖かくなって活動できる時季になるまでじっと耐えて冬を越しています。

成虫の姿で冬を越す昆虫としては「テントウムシ」が有名です。石や倒木の下などで、数匹もしくは数十匹で集団越冬します。寒い冬を仲間たちと肩を寄せ合い暖を取っているのでしょうか……なんだか健気に思えてきます。(テントウムシに肩はありませんが、。)

私たちもこのテントウムシの越冬風景にならって、身近な人と肩よせ合ったりして暖房器具などに頼らない「エコ」と「省エネ」を目指した生活を実践していきたいものですね。

